

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 年 月 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ オカヤマシキョウヤマチクイーエスディスイシンキョウギカイ
 団体名 岡山市京山地区ESD推進協議会
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ イケダ ミツユキ
 代表者氏名 会長 池田 満之 [Redacted]

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	「やさしく走ろう京山」運動の推進
事業実施区域 (小学校区)	伊島小学校区、津島小学校区
① 事業実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して「やさしく走ろう京山」運動の実施状況の報告と啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布やのぼり旗の設置を行った。 ・今年度から、伊島学区、津島学区の体育会（津島は雨天中止）、文化祭でのぼりを立てて「やさしく走ろう京山」運動のアピールを行うとともに啓発プレートの配布を行った。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布は、京山中学校1年生の自転車通学生、伊島小学校、津島小学校の4年生の希望者に行った。 ・「京山地区地域安全パトロール隊」で、参加団体（地区内にある公立の保育園（伊島）、幼稚園（伊島・つしま）、小学校（伊島・津島、ノートルダム清心）、中学校（京山）、高等学校（岡山工業、明誠学院、鳥城高校）、大学（岡山大学、岡山商科大学）の各教育機関、伊島学区・津島学区の交通安全対策協議会、安全安心ネットワーク、連合町内会、コミュニティー協議会、交通安全母の会等の団体と進行状況の報告、協議、運動への協力依頼を行ってきた。また、これらの団体と協力して交通安全街頭行動、「11・21 自転車マナー向上協働行動」、「シニアのためのやさしい自転車教室」を開催した。 ・地域の絆プロジェクトだよりを発行し、「やさしく走ろう京山」運動の発信を続けた。
② 解決を目指した課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「自転車マナー問題」の解決は岡山市京山地区の大きな課題の1つである。京山地区ESDフェスティバル「地域の絆プロジェクト」の話合いの中で「自転車マナー問題」に取り組む必要性が強く出され、地域の絆プロジェクト企画委員会では「やさしく走ろう京山」運動を広げることとし、「自転車マナー問題」の解決を目指した。

<p>③ 目的 ・ 目 標 と そ の 達 成 状 況</p>	<p>・京山地区ESD推進協議会はSDGs目標達成に向けて総合的な取り組みを行っている。SDGsの11番目の目標「住み続けられるまちづくり」に向けて活動している。また、京山地区ESD推進協議会が地域課題と将来展望から設定した京山地区がめざす5つの地域像（目標）がある。その【目標4】「障害者や高齢者も誰もが安心して暮らせる、安全で住みよい地域」を目指して活動をしているのが、「地域の絆プロジェクト」である。</p> <p>・この自転車マナー問題は周知のように、すぐに大きな成果をあげることができない。しかし、「やさしく走ろう京山」運動を広げることによって、歩行者、自転車通行者、車両とも誰もが安心して通行できる地域になることを、期待し運動を続けていくことが何よりも重要と考えている。「この運動はいい運動なので是非に続けていってもらいたい」との声をたくさん聞いている。この声に励まされて、運動を続けていっている。</p> <p>・昨年までに約1,500枚、今年度330枚啓発プレート「やさしく走ろう京山」を配布し、地域関係者の自転車に付けられことによって、人びとの意識は大いに向上した。</p> <p>・京山中学の1年生、自転車通学生、自転車の乗り方教室や自転車運転免許が配布される伊島、津島小学校4年生の希望者に啓発プレート「やさしく走ろう京山」を配布した。</p> <p>・運動の主体として「京山地区地域安全パトロール隊」参加の各団体に呼び掛け、「やさしく走ろう京山」運動企画委員会を結成した。さらに、今年度は隣の学区である御野学区の方、岡山大学の方と「11・21 自転車マナー向上協働行動」を行う事ができた。この行動のまとめと今後の展望を話し合うために、第13回京山地区ESDフェスティバルで御野学区、伊島学区、津島学区、岡山大学の事務局の方、岡山大学の学生さん、警察、区役所、市役所の交通関係の担当の方などで「地域協働フォーラム」を開催することができた。「自転車先進都市おかやま」をめざしてのモデル地区としてスタートすることができた。</p> <p>・「自転車先進都市おかやま」をめざしての「地域協働フォーラム」での話し合いは、自転車問題の解決に王道はなく、地道な取り組みの積み重ねであることが再確認されました。「自転車マナーを守る」ことを呼びかけ続け、参加者自身もマナーを守っていくことが重要だと気持ちを新たにしました。</p>
<p>④ 企 画 等 の 工 夫 と 情 報 公 開</p>	<p>・啓発プレート「やさしく走ろう京山」を制作し、各種会合で運動を推進していく地域の住民、生徒に配布する活動を行った。</p> <p>・「地域の絆プロジェクトだより」を年間4回、京山学区の全戸に各町内会の協力を得て配布した。このだよりには、「やさしく走ろう京山」運動の目的、意義、願い、さらに、啓発プレート「やさしく走ろう京山」の宣伝をほぼ毎号掲載した。</p> <p>・ESDフェスティバルでの「地域協働フォーラム」では、地域の方や大学生が集まり、今後の活動を話し合うとともに、自転車マナーの向上をどう呼びかければよいのか話し合った。</p> <p>・「シニアのためのやさしい自転車教室」開催した。</p>

<p>⑤ 次年度計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者、自転車通行者、車両、誰もが安心して通行できる地域を目指して「やさしく走ろう京山」運動をさらに広げていく。 ・「自転車マナー向上協働行動」を、次年度も御野学区や岡山大学の方々の協力を得て実施したい。合わせて、協働行動を踏まえての「地域協働フォーラム」を開催し、「自転車先進都市おかやま」をめざしてのモデル地区としての取り組みを進めていく。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布を次年度も行う。なお、次年度作成予定分を合わせると約2,100枚になる。このプレートが地域関係者の自転車に付けられることによって、地域の人びとの意識はますます向上し、自転車問題についての関心も高まっていくことが期待される。京山地区ひいては岡山市の地域課題の解決が大きく進むことも期待される。 ・成果の確認は、京山地区ESDフェスティバルなどの場を使って行うアンケートや話し合いから把握して行う。 ・主催者団体に財政的な余裕はなく、ぎりぎりの予算をこの運動にまわしている。その都合で、運動の縮小を余儀なくされている。次年度は、協賛金・協力金の趣意書を作成し広く配布、呼びかけを行うなど財政確保に努力する。
<p>⑥ 事業実施者としての評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通問題は、地域住民でないとできないこと、行政でないとできないことがある。地域住民でないとできないこの運動を今後とも広げていく必要がある。交対協や安全・安心ネットワークはそれぞれ独自の目標に向かって活動を進められている。その活動と協働しながら、京山地区ESD推進協議会地域の絆プロジェクトでは、行政指導の縦割り組織ではできない活動を目指している。具体的には、学校関係や他学区などとの幅広い協働を「自転車マナー向上」に特化した運動で行っている。 ・この運動は、ESD活動（京山地区発案の「えーものを子孫の代まで」）の中で「この京山地域の課題は何か」、その地域課題をどうしたら解決できるか、解決の方向に向かわせることができるかの議論の中で必然的に生まれてきたものだ。 ・自転車マナー問題は持続可能な社会をめざすためには、どの地域にとっても共通の、そして永遠の問題である。その中で、どんな方法がよいのか。どうすれば、どのような効果が生まれるのか。そのための経費をどのように生み出していくのか。すべて、試行錯誤を繰り返す運動だと考えている。 ・啓発プレート「やさしく走ろう京山」を付けていく運動は、自分自身を回りから守ってくれるとともに、自分自身の自転車マナー向上に役立つことが実証されたと感じている。 ・地域活動を行う場合に運動の主体となる団体に十分な財政的な裏付けがない場合が多いのではないか。私たち京山地区ESD推進協議会もこれ以上の財政的な余裕はない。今年度、補助金をいただいていたので、この啓発プレート「やさしく走ろう京山」の配布を中心とした運動は、労力の点、財政の点において精一杯の活動であったと思う。
<p>○交対協と安全・安心で解決できない地域の特異性 ○自己資本の確保と予算の適正かつ効率的な執行 ○これまでの成果や課題を踏まえた、さらに意義のある取り組みとなるような創意工夫</p>	<p>Ⅱ おおむねできた</p>

■事業実施経過

年 月 日	内 容
平成29年4月11日	地域の絆プロジェクト企画委員会
4月17日	京山地区地域安全パトロール隊
4月18日	伊島小学校 プレート申込書配布
4月26日	京山中学 プレート配布
5月 1日	伊島小学校 プレート配布
5月 9日	地域の絆プロジェクト企画委員会
5月15日	京山地区地域安全パトロール隊
5月26日	津島小学校 プレート申込書配布 交通安全教室
6月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
6月 2日	津島小学校 プレート配布
6月 5日	京山地区地域安全パトロール隊
6月 6日	京山地区E S D推進協議会役員会
6月16日	京山地区E S D推進協議会総会
6月20日	地域の絆プロジェクト企画委員会
7月10日	京山地区地域安全パトロール隊
7月11日	地域の絆プロジェクト企画委員会
7月24日	京山地区地域安全パトロール隊
7月24日	「やさしく走ろう京山」運動企画委員会
8月 8日	地域の絆プロジェクト企画委員会
9月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
9月12日	地域の絆プロジェクト企画委員会
9月18日	京山地区地域安全パトロール隊
9月24日	伊島学区体育会 宣伝行動
9月28日	シニアのためのやさしい自転車教室
10月17日	地域の絆プロジェクト企画委員会
10月18日	京山地区地域安全パトロール隊
11月 5日	津島コミュニティー文化祭 宣伝行動
11月 7日	第13回岡山市北区京山地区E S Dフェスティバル実行委員会①
11月14日	地域の絆プロジェクト企画委員会
11月19日	歌って踊ってみんなで交流 宣伝行動
11月20日	京山地区地域安全パトロール隊
11月21日	11・21 自転車マナー向上協働行動
12月 1日	第13回E S Dフェス実行委員会② 「だより」発行
12月15日	地域の絆プロジェクト企画委員会
12月18日	京山地区地域安全パトロール隊
12月19日	「やさしく走ろう京山」運動企画委員会 E S Dフェス実行委員会③
平成30年1月12日	第13回岡山市北区京山地区E S Dフェスティバル実行委員会④
1月15日	京山地区地域安全パトロール隊
1月23日	第13回岡山市北区京山地区E S Dフェスティバル実行委員会⑤
1月27日	第13回岡山市北区京山地区E S Dフェス 地域協働フォーラム
1月28日	第13回岡山市北区京山地区E S Dフェスティバル
1月26日	地域の絆プロジェクト企画委員会
1月28日	第13回岡山市北区京山地区E S Dフェスティバル実行委員会⑥
2月13日	地域の絆プロジェクト企画委員会
3月 1日	地域の絆プロジェクト「だより」発行
3月 9日	平成29年度岡山市京山地区E S D推進協議会役員会
3月13日	地域の絆プロジェクト企画委員会
3月19日	平成29年度岡山市京山地区E S D推進協議会総会

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	75,000	75,000	
負担金	35,000	39,000	岡山市京山地区 ESD 推進協議会
協賛金	30,000	40,000	伊島学区交通安全対策協議会などより
寄付、他収入	10,000		
計	150,000	154,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	148,000	152,664	啓発プレート、のぼり、地域の絆だより用紙代
②食糧費			
③印刷製本費			
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	2,000	1,336	企画委員会案内状郵送切手代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
計	150,000	154,000	